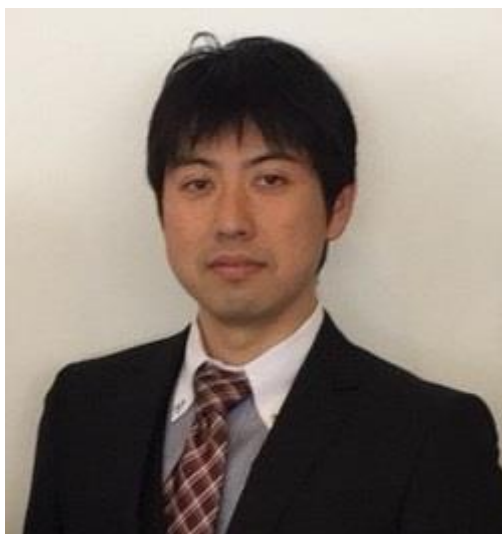


公益社団法人白河青年会議所
2021 年度事業方針



第 63 代理事長 成井 匠

2021 年度スローガン

不易流行

挑もう 歴史に謙虚に 未来に果敢に

～はじめに～

本年、白河青年会議所は、創立より 63 年目を迎えます。いつの時も青年会議所では、「奉仕」「修練」「友情」という三信条の下、明るい豊かな社会の実現を目指し、日々運動をしてまいりました。それぞれの時代を通して常に変わらないこと。それは、所属するメンバーが互いに切磋琢磨し、試行錯誤を重ね、ときに意見や議論をぶつけ合いながら、しらかわ地域の発展について考え抜き、行動に移してきたことです。数多くの先輩方が、数多くの青年会議所運動に取り組み、歴史を積み重ね、地域の発展に貢献し、今に至ります。

そして、この歴史の中でも特に、我々はかつてない変化の時代の中にあります。そのスピードは非常に速く、日一日として同じ環境にあることはありません。この中で生きていくには、「時代に合わせ変えるべきところ」と、「いつも変わらぬ軸となる部分」を見極めることが肝要です。

技術の変化については言うまでもありませんが、2019 年末より大流行した新型コロナウイルスによる、ライフスタイルの変化や、今まで常識とされてきた考え方への変化は、この最たる例となるでしょう。この現在において、変化を拒む団体では、日々の変化の中に

取り残されてしまうこととなります。しかしながら、基軸の部分まで変えてしまうようでは、本質を見失い、運動の一貫性を失います。これまでにわたり脈々と受け継がれてきた想いや本質を軸に、されど時代に合わせ、行動や運動、その在り方を変えられる“しなやかさ”を持った団体となることが必要とされています。

どの部分において変化が必要かを的確に判断し、ときには恐れることなく変わりゆく団体であるとともに、一方でこれからも大切なものを受け継ぎ、伝えていく団体を目指しましょう。そうして積み重ねられていく運動は、必ずしらかわ地域の発展と、明るい豊かな社会の実現の道につながると考えます。

～まち～ 歴史や風土を大切にしつつ新しい付加価値を見出そう～

私たちの暮らすしらかわ地域には多くの地域財が存在します。城址を中心に息づく白河藩としての歴史、古くより東北の玄関口として発展してきた風土、近代においても新幹線が通り、海側と山側、福島を縦横に結ぶ交通の要衝として栄えてきました。一方で、自然もまだまだ多く残り、屋外を使用した体験型の教育活動も行いやすい恵まれた地域です。私たちは、この地の利を最大限に生かすこと

を忘れてはなりません。小峰城や白河の関など、歴史深い名所が数多く存在します。また、文化においても、白河だるまや白河提灯まつりなど古くより伝わるもの、食においては白河ラーメン、農産物など、しらかわ地域から外部に発信できる魅力は数多くあります。

しらかわの地域財を今一度、我々がしっかりと認識し、外部に発信していくことが大切なことだと考えます。また、そこに暮らしているからこそ当然という認識になっており、気付かない・普段意識していない部分にこそ、他地域の方が感動を覚え、魅力を感じる地域財が潜んでいるのではないのでしょうか。一般的な考えに囚われず、青年ならではの自由な発想で魅力を捉え、伝える。これこそが、我々ができるまちづくりであり発信です。様々な機会を通して他地域に行くことも多い青年会議所のメンバーだからこそ、感受性や客観的な視点を磨き、地域の本当の魅力を見つける眼を育て、しらかわ地域に新たな付加価値を付けていきましょう。

～ゆめ～ 子供たちが夢を描ける地域をつくろう～

次代の人材、つまり今の子供たちが育っていくためのキーワードは「目標」「挑戦」「自信」だと考えます。目標を持つこと、それに

向かって挑戦すること、そして少しずつ自信をつけ、目標に近づいていくこと。この繰り返しが重要ではないでしょうか。

そのために私達ができることは、目標を持つ機会の提供、つまりそもそもの「きっかけ」を作ることだと考えます。何事も、知らない状態では目標にしようもありません。存在を知り得て、憧れを抱いてこそ目標や夢というものになるのです。様々な機会を創出し、より多くの子供たちが夢を抱くきっかけを作り出しましょう。目標を持つ子供たちの次のステップは自分の想いを共に語れるコミュニティがあることだと考えます。目標は口に出すことで行動の原動力となり、悩み、苦しんだ際には、共有する環境がある。これが次世代の人材であり、リーダーシップを持つ人間を育てる環境だと考えます。しらかわ地域に根差し、運動を続ける私だからこそ考えられる、しらかわの特色を生かした地域性あふれる教育の環境を作って参りましょう。

～ひと～ 想いをつなげる仲間を増やそう～

仲間の数はそのまま力となります。こと近年における会員減少は非常に危機的状況と考えます。このまま停滞、もしくは減少が続け

ば5年、10年先には現時点の事業量の存続はまず不可能となるでしょう。また、会員減少による事業の減少や小規模化は、会の魅力・発信力を低下させ、さらなる会員拡大における障害となり得ます。

多くの運動を行っていくために、想いを共にする仲間の存在は欠かせません。少子高齢化と言われる時代にあって、その同志を見つけることは難しいかもしれません。しかし、想いを共に繋いでいける人は必ず居ます。恐れず自分の考えを伝え、広めていきましょう。仲間を増やすことで、多種多様なメンバーでの運動が可能になり、企画段階でのアイデアの増加、様々な視点でのものの見方ができるほか、ひいては事業内容の多様化につながるでしょう。また、多くの仲間が各々に個々の力を示すだけでなく、一致団結して運動してこそ、その力は何倍にもなり得ます。その姿は他者から見ても魅力ある団体に見えるでしょう。一緒になって行動するその姿を見せていくことは、地域の若者にとっても頼もしく映るはずです。自信を持ってその背を見せられる青年でありましょう。

青年会議所運動の中には、様々な機会が存在します。そんな一度一度の機会を楽しんで、実りある経験と成長に繋げる。このサイクルによって、白河青年会議所にこれまで以上の強い活気を生み出し、

白河青年会議所の魅力発信に繋げていきましょう。そして、このサイクルが、白河青年会議所の次の会員拡大に繋がっていくのです。多くのメンバーで想いを繋ぎ、これからも長期間にわたって一貫した運動ができる団体を目指しましょう。

～組織～ 基本を疎かにせず歴史に敬意を持とう～

組織を支えるのは想いを共にできる仲間のほかに、屋台骨を支える力も必要です。地に足がついていない状態では全てにおいて力が入りません。組織に基盤の力、それは総会の設営であったり、財政面の管理に当たります。これらの運営面がしっかりし、土台が盤石であってこそ、安心して組織としての運動が可能であり、外部に対しても組織の信頼性を担保する要となります。そして、この基盤の維持方法こそが白河青年会議所が脈々と受け継いできた力の一端だと思います。先輩方への敬意、総会などの運営方法や在り方、それはしらかわ地域を支える経済人としての人間的な基礎や気概を醸成する場でもあり、白河青年会議所で運動していくからこそ学べる力です。

我々は、これまでの歴史の上に成り立つ白河青年会議所の会員と

して、さらには新しい歴史を積み重ねる一片であることを忘れずに運動していかなくてはなりません。

～SDGs～ 持続可能な地域社会を目指して～

当会では引き続き SDGs の推進に取り組んでまいります。現在は多くの企業や地方・人々に認知され、それぞれが取り組みを始めております。本年は 17 の大きな目標に対してのアプローチをさらに絞り込み、より細かく定例会や事業に手法を落とし込んでいくことで、さらに深い取り組みを実践する団体を目指します。本来、SDGs は同じようなことを推進するよりも、その団体や地方に合った取り組みを行うことで、より効果を発揮するものと考えます。率先してその取り組みを深め、しらかわ地域の SDGs 運動について牽引できる団体を目指しましょう。

～むすびに～ 何事にも積極的に関わり、本気で取り組もう～

私が社会人になってから、これまで経験し、体験的に学んだこと。それは「挑戦に無駄なことなど何もない」ということです。私事ですが、昔からパソコンに苦手意識がなかったおかげで、できること

はやってみよう！の精神で画像や音楽の編集、プログラミング、とにかく様々な分野に遊びの感覚で興味を持ち、取り組んできました。パソコンは一例で、他にも様々な面で、興味があることは調べ、楽しみながら挑戦してみました。それら全てが何かに活かしているという訳ではありませんが、ふとした時、「こんなことをしてみよう！」とか「こんなことできるだろうか？」という時に、意外な形で経験が活かることがあります。むしろこの変化の時代だからこそ、問題を解決する奇手として、本来とは違ったアプローチが活かせることがあると感じます。

これらの体験から考えた、我々青年がすべきこと。それは、ひとえに実践です。計画をたて、何かを行う時、障害がないことはごくわずかです。困難が立ちほだかり、悩むことが多分にあります。時には来た道に戻ることもあるかもしれません。しかしそれは経験、知識という形で必ず自分に残ります。無駄や無意味なことなどひとつもありません。惜しむことなく、むしろ青年ならではの発想を基に失敗を恐れず、自信を持って行動していきましょう。悩み、考えた時間はそのまま力になります。そして行動した後は、成功にせよ失敗にせよ、その経験を謙虚に振り返り、次回に活かしていくこと

で、さらに一回り成長することができるのです。そして、機会は自身が求めなければ、巡ってはきません。是非、機会を見過ごさず、自身が成長する糧として下さい。そこで得る経験や刺激、様々な人との出会い、関わり合いは、自身の成長を大きく促進するきっかけになるでしょう。そしてその成長を自身だけのものではなく、白河青年会議所や地域、社業の発展に還元してください。

変化の時代を楽しみつつ、全てに本気で取り組み、多くの実りある経験を得て、個人だけでなくしらかわ地域の発展に大いに寄与して参りましょう。